

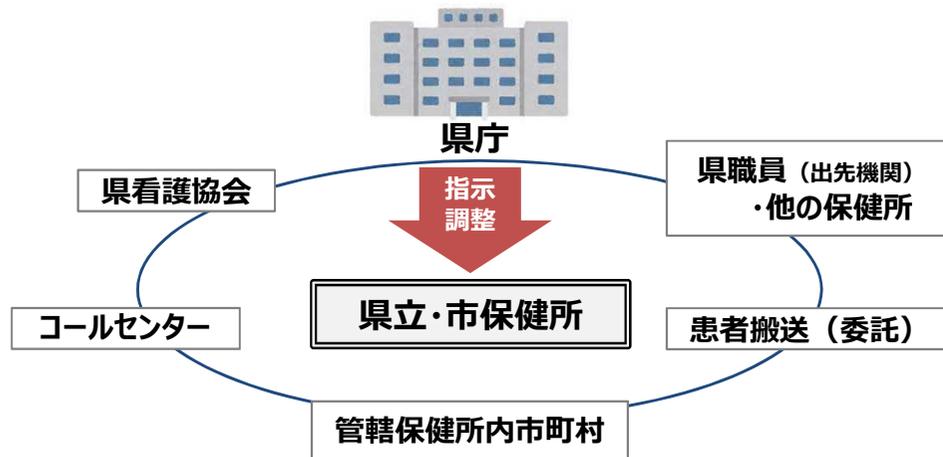
コロナ禍における保健医療行政の強化

現状・課題

- 早期発見、早期隔離、積極的疫学調査等を保健所の統合ネットワークにより実施
- 全員入院体制の堅持、病床及び宿泊療養施設の確保、ワクチン接種体制の整備等により、引き続き徹底した感染拡大防止に取り組む

保健所体制の強化

- 感染者・感染源疫学調査や濃厚接触者の特定・健康観察等感染拡大防止に専念できるような体制を維持



- 県立保健所間の相互応援を必要に応じて実施
- 県看護協会や管轄保健所内市町村からの応援体制を整備
- 入院医療機関との連絡調整及び患者搬送や検体搬送体制を整備
- 感染拡大時には、近隣医療機関の看護師等による保健所での検体採取支援体制を整備

感染状況に応じた4陣の備え

- 全員入院
 - ・患者の健康を第一に考えた基本原則
- 宿泊療養施設（出口利用）
 - ・病状が安定している入院患者は、一定期間経過後に病院から宿泊療養施設へ
- 宿泊療養施設（入口利用）
 - ・病床の状況に応じて、重症化リスクの低い方を中心に
- 自宅療養
 - ・無症状、軽症者を対象に、医師による健康観察、医療の提供

ワクチン接種体制の整備

- 発症・重症化予防のため、県民が遅滞なくワクチン接種を受けられるよう体制を整備
- 保健所、市町村、医療機関等の連携体制を強化
- 早期接種を実現するため、個別接種に協力し、一定条件を満たす医療機関に対して協力金を支給

令和4年度：11.1億円
(8.3億円)

地域医療提供体制の堅持

現状・課題

- 医師の地域偏在や特定診療科の医師不足解消に取り組むことで、**県内どこに住んでいても必要な医療を受けられる医療提供体制の構築が必要**
- **県内病院での産婦人科医師不足を解消するため、医師確保に向けた緊急的な対策が必要**

医療体制の充実・拡充

● 救急医療体制の充実

- ・救急医療の最後の砦である救命救急センター運営に対する支援
- ・ドクターヘリの運航支援やドクターヘリの格納庫及び給油施設を整備 <3.2億円>



コスモパーク加太ヘリポート隣接地に整備
(令和4年竣工予定)

● 遠隔医療推進

- ・テレビ会議システムにより、へき地での医療体制を充実
- ・モバイル端末を活用し、検査画像の共有を通じて医療機関間の連携強化

医療人材の育成・確保

● 地域医療を担う医師の確保

- ・県立医科大学 (H19:60名→H22以降:100名)
[地域医療枠10名、県民医療枠20名の定員を確保]

● 不足診療科（産婦人科、精神科等）の医師確保

- ・県外から赴任した医師に研究資金貸与
- ・県内病院で専門研修を受ける若手医師に研修資金貸与

● 看護職・リハビリ職・薬剤師の育成

産婦人科医師緊急確保対策 新規

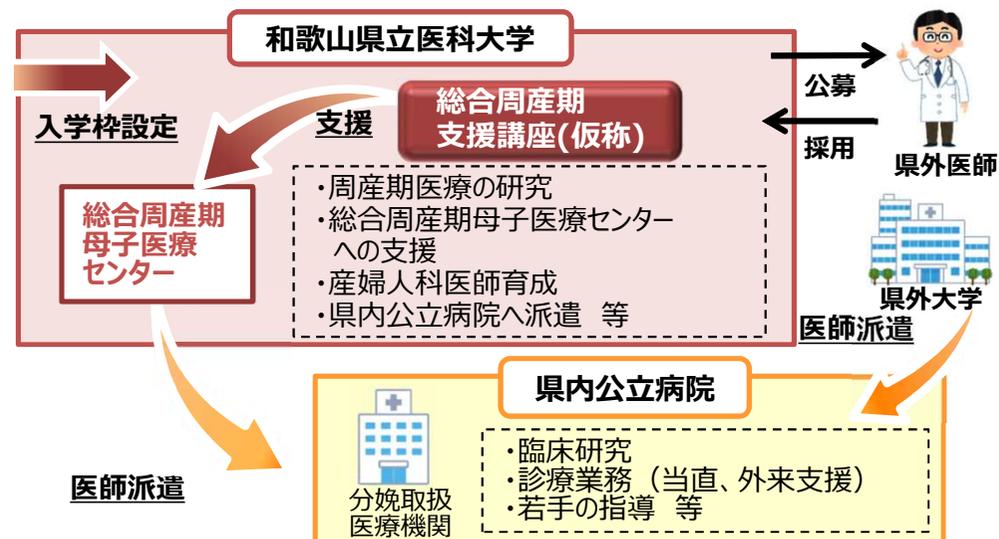
<1.0億円>

● 県外からの医師派遣を促進

- ・県外大学と連携し、県内公立病院（分娩取扱医療機関）へ産婦人科医師を派遣

● 県内での人材育成・診療体制を強化

- ・県立医科大学に寄附講座※を開設し、周産期医療の研究をはじめ、産婦人科医師の育成や診療を支援
※大学の研究教育の進展及び充実に資することを目的とし、独立した教育研究組織を設置する制度
- ・県立医科大学に診療科指定（産婦人科等）の入学枠設定を大学と調整



中小企業等におけるコロナ危機からの脱却

令和4年度：33.2億円
(8.0億円)
新規融資枠：900億円

相談支援体制の充実

- 県内事業者のコロナ不況長期化への備えや、業態転換や新分野展開などの新たな挑戦に対し、わかやま産業振興財団や商工会・商工会議所における**相談体制を充実**させるとともに、**県や国の支援策を最大限活用**できるよう**強力にサポート**

資金繰り支援

- 県内事業者の資金繰りに十分対応するため、中小企業融資制度において、**新規融資枠 900億円**を確保

主な改正内容

- **[成長サポート資金（チャレンジ応援枠）]の拡充**
 - ・ 県内事業者のDXを強力に推進するため、融資対象を拡充するとともに、融資利率を令和4年度限定で0.2%引き下げ
- **[経営支援資金（伴走支援枠）]の拡充**
 - ・ コロナの影響を受けた事業者が、金融機関の伴走支援を受けながら経営改善に取り組む際に活用できる資金の拡充・延長
※取扱期限：令和4年3月31日⇒令和5年3月31日（1年間延長）

飲食・宿泊・サービス業等支援金

<24.7億円>

- コロナの影響で売上が減少した県内事業者に対し、売上減少率及び従業員規模に応じて**支援金を給付**

新たな挑戦への支援

- **新商品開発から販路開拓まで新たな挑戦を支援**
 - ・ デジタル化補助金（再掲）
 - ・ わかやま中小企業元気ファンド・わかやま農商工連携ファンド
 - ・ わかやま地場産業ブランド力強化支援
- **起業による新たな挑戦を支援**
 - ・ わかやま地域課題解決型起業支援補助金
- **業態転換や新分野展開などの新たな挑戦を支援**
 - ・ 中小企業等事業再構築促進事業（国）
補助金：100万円～1.5億円 補助率：2/3,1/2,3/4

わかやま産業振興財団において、引き続き専門コーディネーターを配置し、補助金の**計画策定から計画実行まで伴走支援**

※令和3年度は第4次公募終了までに約440者に対し、支援を実施

コロナ不況下における雇用対策

令和4年度 : 144,440千円
 令和3年度補正 : 81,421千円
 (222,318千円)

現状・課題

- 高校生の就職ミスマッチ解消のため**複数応募制**を導入。就職を希望する高校生の**主体的な企業選択に対する支援**が必要
- コロナ禍で地方移住への関心が高まっており、和歌山を支える産業人材を呼び込むチャンスと捉え、**UIターン就職支援を強化**するとともに、コロナ禍での雇用情勢悪化により離職を余儀なくされた**失業者の早期就職支援**が必要

高校生の就職活動支援強化

<0.6億円>

Webを活用した就職活動支援強化

● Web就活オリエンテーション **新規**

高校2年生の3学期に**Web動画**で就職活動に必要な情報を提供。オンデマンド配信で放課後や休日でも視聴可能

● 高校生向け就職ポータルサイト **新規**

「UIわかやま就職ガイド」の**高校生用ページ**を新設し、Web上で就職活動を支援



● Web合同企業説明会 **新規**

対面形式で実施する地域ブロック応募前企業ガイダンスに加え、Web合同企業説明会を7月頃に開催

● Web個別企業説明会



Web個別企業説明会

Webを活用したタイムリーな就職支援で県内就職率向上

就活サイクルプロジェクト

<0.9億円>

UIターン就職支援強化

● 大人のインターンシップ **新規**

UIターン求職者に対し、**和歌山にある仕事を深く知る機会**を創出

【受入企業向け支援】・お試し雇用補助金<既存>

再就職マッチング率向上

● 再就職につながるステップアップフェア **拡充**

求職者・企業双方の能力を磨き、マッチングを行うミニサイクル構築

離職者の再就職支援

<③補正0.8億円>

- 座学研修と職場実習による**研修機会を提供**し、介護など**人手不足で人材需要のある分野**への**正規雇用**につなげる

① **直接雇用型** 志望分野・企業が**決まっている**求職者向け支援
 (受入企業に補助)

② **間接雇用型** 志望分野・企業が**決まっていない**求職者向け支援
 (マッチング支援を行う事業者に委託)